

めぐみイエス・キリスト教会

2026年3月1日(日)第一主日礼拝

午前10時より

週報「通算第797号」



2026年標題聖句

ヨハネの福音書14章1節～2節

《「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、また私を信じなさい。私の父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、私は場所を備えに行くのです。」(新改訳第Ⅱ版)》

礼拝 毎週日曜日 午前10時～11時

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】		
【賛美Ⅰ】	新聖歌233「驚くばかりの」	p. 354
【交読文】	No.5 詩篇第19篇	p. 882
【賛美Ⅱ】	新聖歌340「救い主イエスと」	p. 540
【使徒信条】		
【主の祈り】		
【前回説教】		
【賛美Ⅲ】	オリジナル曲「私の十字架」	
【聖書朗読】	ルカの福音書12章33節～34節	
【礼拝説教】	「あなたがたの宝とは」	
【聖餐式】		
【賛美Ⅳ】	新聖歌165「栄光イエスにあれ」	p. 235
【平和祈り】		
【頌 栄】	新聖歌63 「父・御子・御霊の」	p. 85
【祝祷後奏】		

※本日の聖書箇所（ルカ伝12章33節～34節新約p.142下段）

12:33「自分の財産を売って施しをなささい。自分のために、天に、すり切れない財布を作り、尽きることのない宝を積みなささい。天では盗人が近寄ることも、虫が食い荒らすこともありません。

12:34 「あなたがたの宝のある所、そこにあなたがたの心もあるのです。」

●ポイント1. 共観福音書での同一平行記事から

※マタイの福音書6章19節～21節「山上の垂訓」（新約p.10）

6:19 「自分のために、地上に宝を蓄えるのはやめなさい。そこでは虫やさびで傷物になり、盗人が壁に穴を開けて盗みます。

6:20 自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。

6:21 あなたの宝のある所、そこにあなたの心もあるのです。」

●ポイント2. 「自分のために」とは？

※マタイの福音書10章42節「小さい者たちの一人」(新約p.29)

10:42 「まことに、あなたがたに言います。わたしの弟子だからということで、この小さい者たちの一人に一杯の冷たい水でも飲ませる人は、決して報いを失うことはありません。」

※ルカの福音書6章35節～36節「パリサイ人へ」(新約p.122)

6:35 「しかし、あなたがたは自分の敵を愛しなさい。彼らに良くしてやり、返してもらうことを考えずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの受ける報いは多く、あなたがたは、いと高き方の子どもになります。いと高き方は、恩知らずな者にも悪人にもあわれみ深いからです。

6:36 あなたがたの父があわれみ深いように、あなたがたも、あわれみ深くなりなさい。」

●ポイント3. 「神様の宝物」とは？

※申命記14章2節「神様のモーセへの言葉から」(旧約p.340)

14:2 あなたは、あなたの神、主の聖なる民だからである。主は地の面のあらゆる民の中からあなたを選んで、ご自分の宝の民とされた。

◎先週のメッセージ【御国を求めなさい】

《「あなたがたは御国を求めなさい。」と、主イエスは言われました。また、「私がこの世のものでないように、彼らもこの世のものではありません。』とも言われています。そして、パウロは『神はまた、キリスト・イエスにあって、私たちを共によみがえらせ、共に天上に座らせて下さいました。』と書き記しています。私たちの体は、この世にまだ属していますが、私たちの霊は、主と共に天に座していることになるのです。

さて「御国」とは何でしょうか。三つの国が考えられると思われれます。まず、一つ目の御国ですが、それは、私たちの魂と体が贖われる時を指しています。すなわち携挙の時です。携挙こそが、私たちが待ち望むゴールでもあるのです。

そして、二つ目の御国とは千年王国のことです。「主イエスよ。来たりませ。」と、ユダヤ人全員が叫び求めた時に、主は再臨されます。その時、主はオリーブ山に降り立ち、エルサレムを包囲していたすべての軍隊を一瞬にして滅ぼされ、悪魔を縛り上げ、それから、主が「平和の王子」として納める「千年王国」の統治が始まります。

さて、最後の三つ目の御国ですが、実は御国はもうすでにこの世に来ています。なぜなら、御国とは、主イエス様のご臨在される場所を表わしているからです。「二人でも三人でも、私の名において集まる所には、私もその中にいるからです。」と、主は言われました。

つまり教会こそが、神様の三つ目の御国なのです。御国のひな形とも言えるでしょう。教会に集うこと、集い続けること、また信徒の友人たちと交流を持つことは非常に大切なことなのです。なぜなら、私たちは互いの為に励まし合い、助け合い、祈り合うことが出来るからです。さて、主は「神の御国を求めなさい」と言われましたが、これは一回だけではなく、常に祈り求め続けることを言われています。また、私たちは確かに「小さな群れ」ですが、恐れる必要は全くないのです。》

◎お知らせ

※第2主日礼拝は、2026年3月8日(日)午前10時から行ないます。